



基本目標

5

地域資源を生かした
活気あるまちづくり

C O N T E N T S

[地域資源]	46 ● 地域資源を活用し新事業の創出や新たな産業を育てます ……132
[観光]	47 ● 多様な観光資源を活用し、観光事業を推進します ……134
[工業]	48 ● 新事業の創出や起業家を育成するリサーチコア事業を推進します ……136 49 ● 地域産業の活性化と企業誘致活動を強化します ……138
[農業]	50 ● 農業生産基盤の整備と多様な担い手を育成します ……140 51 ● 都市と農村の交流により地域農業の活性化を推進します ……142
[商業]	52 ● 地域に根ざした商店街づくりを進めます ……144
[労働環境 ・消費生活]	53 ● 求職者の技能向上と就業の場を創出し拡大します ……146 54 ● 消費生活の安定と消費者保護に努めます ……148

46 地域資源を活用し新事業の創出や新たな産業を育てます

主要
施策 46-1. 地域資源の発掘と活用
46-2. 恵庭ブランドの構築



現況と課題

○地域が自立的に発展していくためには、地域の独自性が必要であり、産業の活性化と都市機能の充実を一体的にとらえて地域を運営するという視点が求められています。地域のさまざまな資源を活用し、地域産業を活性化していくことが重要です。

○本市には、恵庭溪谷をはじめとする自然資源、ガーデニングで彩られたまちなみ、多様な農産物や工業製品、さらには恵庭独自の歴史や人材もいます。また、まだ目の見ていない多くの特質、素材が埋もれてもいると

考えられます。

○様々な地域資源を洗い出し、活用しながら、地域の総合力を結集して新しい事業や特産品を創出し、情報発信していく取り組みによって、地域産業の活性化を図る必要があります。

○特に、市内の経済団体、各産業及び研究・コーディネート機関などの異業種が連携・交流することにより、付加価値の高い新たな地場産品の開発を行うとともに、消費者の理解を得ながら産消協働^{※1}の取り組みを推進していく必要があります。

※1—産消協働「生産者と消費者が緊密な連携をとりながらお互いである資源、生産物をできる限り地域で消費・活用することにより、各自価値（人・モノ）の創出を促す。地域経済の活性化をめざす。」

基本
方針

地域の力を結集して恵庭ブランドを構築し他地域との差別化と地域の独自性を確立するとともに、地域の多様な資源を洗い出し、農業者・事業者が活用を進め、地域産業の活性化を図ります。

主要
施策

46-1 地域資源の発掘と活用

地元にもどのような素材があり、その素材にもどのような歴史や背景があるかを洗い出し、これまで一生産者や一企業、一市民に閉ざされていた地場の資質、農産品、工業製品、自然資源、工業力、商業力を地域の人々が共有し活用していきます。

【主な事業】

- ・地域資源発掘調査の実施
- ・シーニックパイウェイ活動^{※2}の促進

46-2 恵庭ブランドの構築

「花のまち」という恵庭のイメージが定着してきています。「花のまち＝恵庭」を基軸にし、地域の力を結集して恵庭ブランドの構築に取り組みます。

【主な事業】

- ・恵庭ブランドの確立
- ・特産品の開発



※2—シーニックパイウェイ活動—地域の魅力を「遊ばせてつなげる」がら地域住民と行政が連携し、参加をはじめとした地域資源の保全・改善を進める取り組み

47 多様な観光資源を活用し、観光事業を推進します

- 主要
施策**
- 47-1. 観光資源の活用
 - 47-2. 観光事業の推進
 - 47-3. 観光推進体制の確立



白糸の滝(撮影)

現況と課題

○恵庭市の観光資源は、恵庭渓谷、えにわ湖などの自然資源をはじめ、企業庭園、多様な農産物があります。近年ではガーデニング見学で訪れる人々が増えていますし、民間による大規模庭園や道と川の駅の整備が予定されています。

○イベント事業として夏まつりやすずらん踊り、花とくらし展、雪んこまつりなどが行われています。

○観光資源を活用し、多様化する観光需要に

対応するために新たな観光（体験型観光・暮らし方提案型観光など）の構築、提案を行うとともに、それらを活用した滞在可能な市内周遊観光モデルルートを整備して情報発信を行うことが必要です。

基本方針

観光関連団体などと連携して、地域資源を生かした新たなイベントや特産品の開発に取り組むとともに、地域観光情報の地域内外への積極的な情報発信に努めて観光振興を図ります。

主要
施策

47-1 観光資源の活用

恵庭沃谷などの自然資源や企業庭園、ガーデン見学、民間による観光庭園、グリーン・ツーリズム[※]などの観光資源と道と川の駅などの観光拠点を結びつけた観光ルートの設定に取り組みます。

【主な事業】

- ・観光ルートの設定
- ・道の駅「花ロードえにわ」整備事業(再掲)



夏まつり(島松)

47-2 観光事業の推進

市内外客が楽しめて情報発信できる祭りやイベントをめざすとともに、「見る観光」のほか「体験する観光」事業についても取り組みます。

【主な事業】

- ・恵庭夏祭り・花とくらし展

47-3 観光推進体制の確立

多様化する観光ニーズに応えるため、新たな観光振興策を計画するとともに民間観光関連団体との連携、観光ボランティアの育成など観光協会を核とした観光推進体制を確立し、効果的な観光振興に取り組みます。

【主な事業】

- ・観光振興計画の策定

※「グリーン・ツーリズム」は豊かな農村・山村地域において、農林業体験をするなど自然文化、人々の交流を楽しむ観光活動

48 新事業の創出や起業家を育成する リサーチコア事業を推進します

- 主要
施策**
- 48-1. リサーチコア事業の充実
 - 48-2. 高等教育機関や研究機関などとの連携



恵庭リサーチ・ビジネスパーク

現況と課題

○リサーチコア事業^{※1}は、地域の研究開発水準を向上させることによって地域の産業構造の高度化や新規事業の立ち上げを促進させるもので、恵庭市では、昭和63年に第3セクター方式^{※2}で設立された恵庭リサーチ・ビジネスパーク^{※3}が中心となって、リサーチコア事業に取り組んできました。

○恵庭リサーチ・ビジネスパーク^{※3}は、インキュベーター^{※4}としてベンチャー^{※5}の公募に取り組むとともに、試験・研究機器を活用し

た研究開発支援事業や人材育成事業を行っており、地域における産業支援機能の役割を担ってきました。また、「理科実験教室」や地元農産物を生かした「料理教室」を開催するなど、地域との連携を深めています。

○異業種交流^{※6}や産学官連携などの交流活動を推進し、地元企業との共同開発や共同事業へつなげていくとともに、地域資源を活用し地域産業を活性化させる取り組みを強化していくことが必要です。

※1—リサーチコア事業…地域の産業構造の高度化をめざし、
1. 開放型試験研究施設 2. 人材育成施設 3. 交流施設
4. 研究開発型企業育成支援の4つの施設が1群となった研
究開発施設
※2—第3セクター…地方公共団体と民間の共同出資による株式会社
形態の法人

基本方針

地域における産業支援機能の役割を担い、リサーチコア事業を推進してきた恵庭リサーチ・ビジネスパーク^(株)と連携し、新事業の創出や起業家育成、研究開発支援を進め、地域産業基盤の強化に努めます。

主要施策

48-1 リサーチコア事業の充実

研究開発支援施設である恵庭リサーチ・ビジネスパーク^(株)を核として研究開発や人材育成機能の強化を図るとともに新規事業化や起業家育成を支援します。

【主な事業】

- ・リサーチコア事業

48-2 高等教育機関や研究機関などとの連携

高等教育機関や研究機関の立地・拡充をめざしていくとともに、恵庭リサーチ・ビジネスパーク^(株)を中心に、大学・専門学校や立地企業などと連携による新事業創出や地域資源の新たな活用を図ります。

【主な事業】

- ・異業種交流事業



恵庭RIBパーク理科実験教室

※3—インキュベーター・孵化場の属、研究開発型企業育成支援施設
 ※4—ベンチャー・新技術や高度な専門知識を駆使して新たな事業を創出する企業
 ※5—異業種交流・さまざまな立場、職業、価値観を持つもの同士で、情報交換を行い、人脈の形成や、仕事上のヒントを求め合う集まり